

石川県とその周辺の地震活動（令和3年2月）

令和3年3月8日
金沢地方気象台

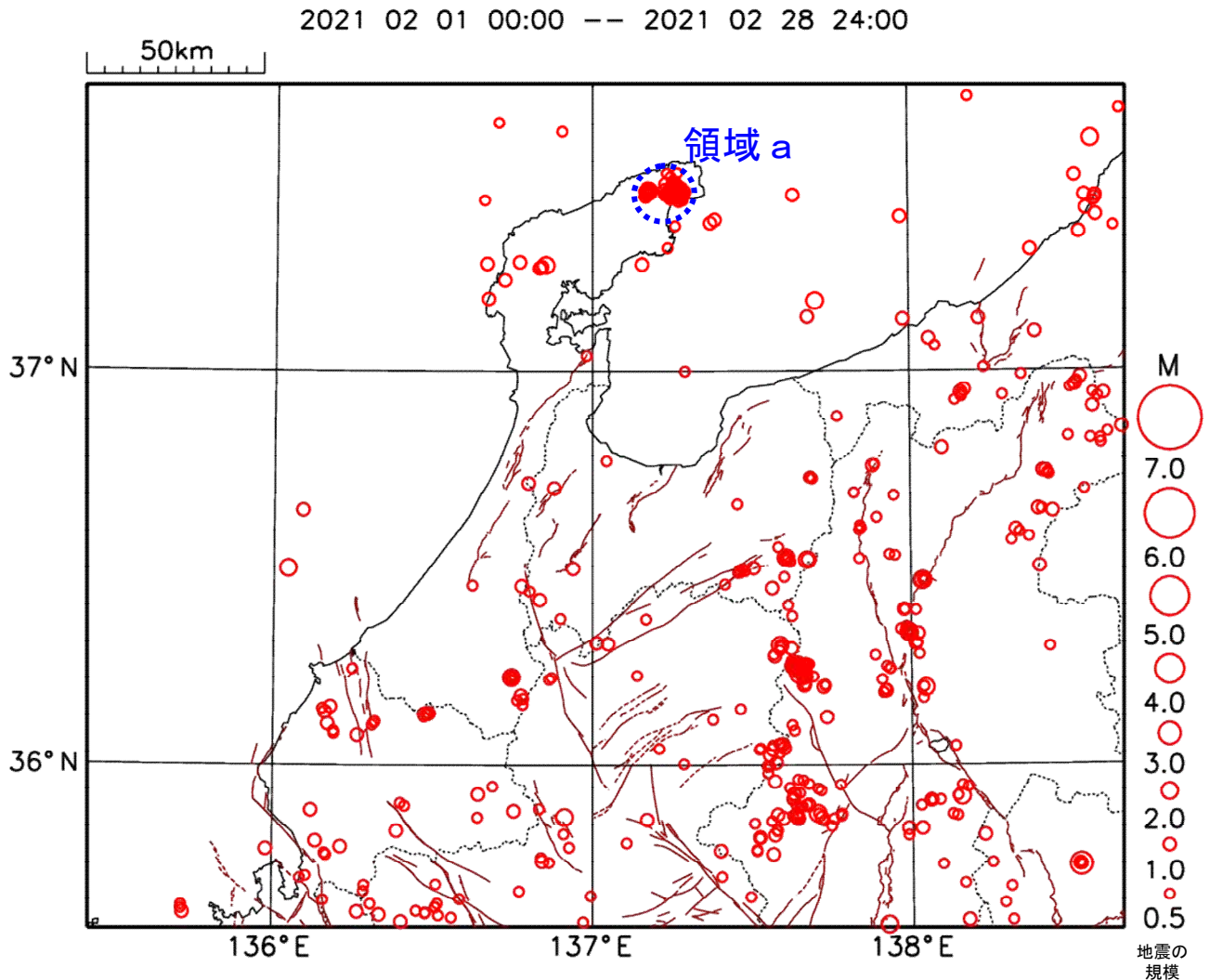
1. 概況

令和3年（2021年）2月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回でした。

2月13日23時07分に福島県沖の深さ55kmでM7.3の地震（図の領域外、珠洲市正院町で震度3）が発生しました。この地震により、福島県などで死者1名、重傷者12名、住家全壊24棟などの被害が発生しました。（災害情報第15報（2月25日 総務省消防庁より）。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。

このほか、石川県能登地方（下図の領域a）の震源付近では微小な地震活動が継続しています（5項第2図参照）。

2. 震央分布図



第1図 令和3年（2021年）2月の深さ0～30km、M0.5以上の地震の震央分布図
（図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す）

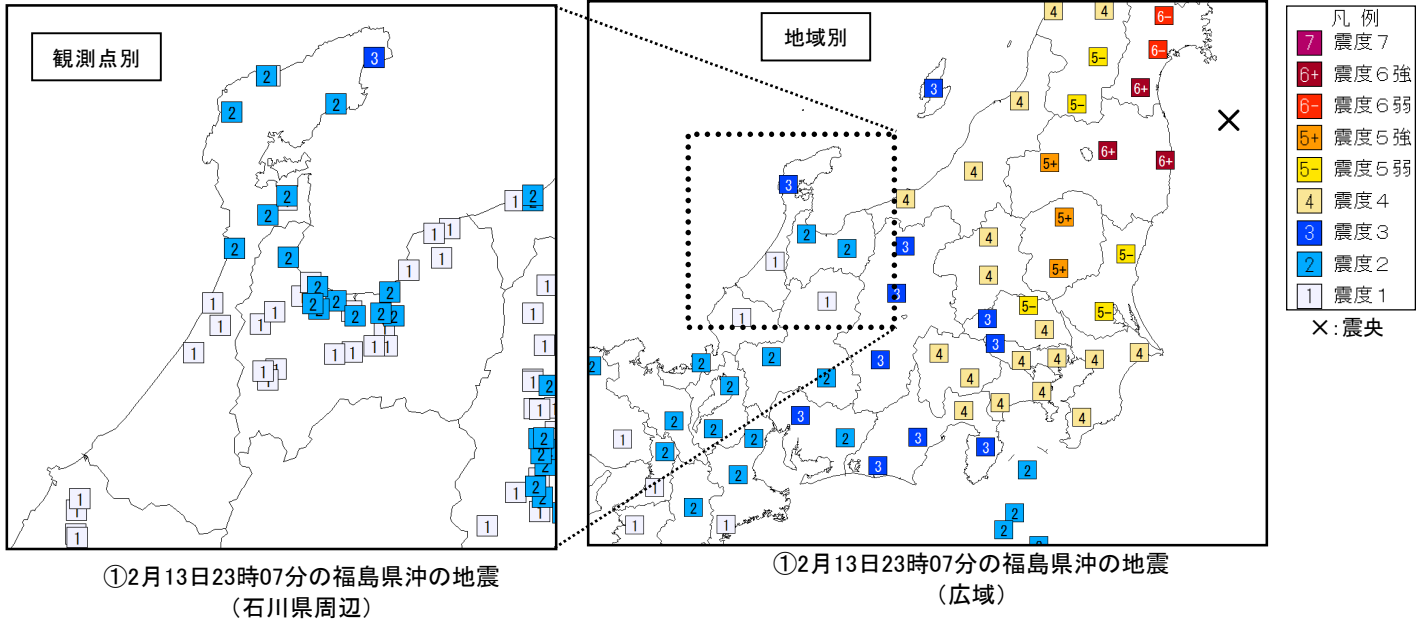
3. 令和3年（2021年）2月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模
各地の震度					
① 2月13日23時07分	福島県沖	37° 43.7' N	141° 41.9' E	55 km	M 7.3
震度3	： 珠洲市正院町*				
震度2	： 七尾市袖ヶ江町*, 輪島市鳳至町, 輪島市門前町走出*, 羽咋市旭町*, 中能登町末坂*, 能登町宇出津				
震度1	： 七尾市本府中町, 輪島市河井町*, 金沢市西念, 津幡町加賀爪, かほく市浜北*				

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

*の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

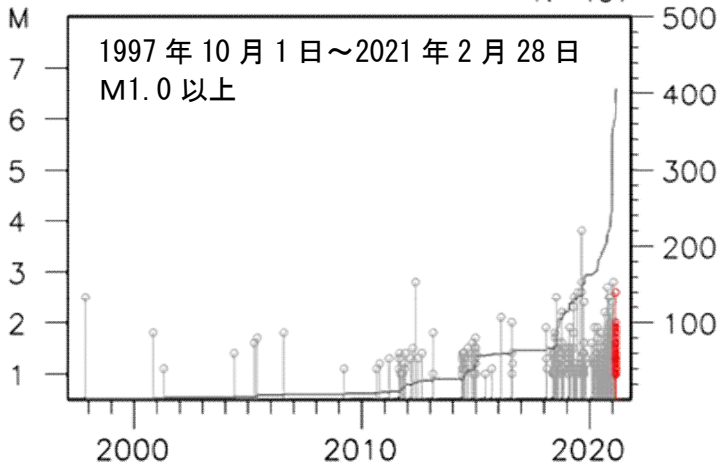
4. 令和3年（2021年）2月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と市町の震度分布図



5. 石川県能登地方の地震（2. 震央分布図中の領域a内）の地震活動

1997 10 01 00:00 -- 2021 02 28 24:00

N=407

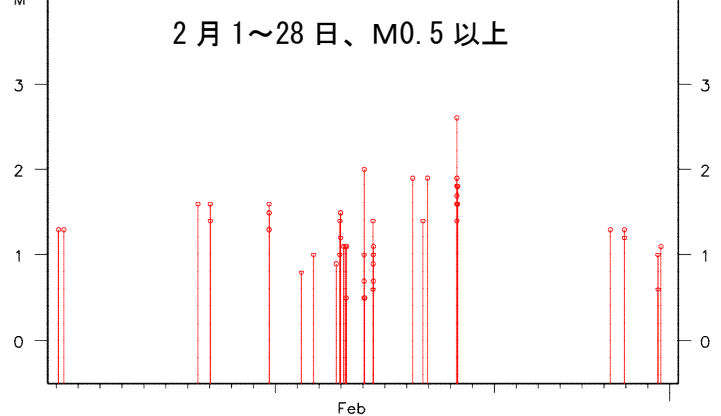


第2図 地震活動経過図及び、地震回数積算図

石川県能登地方（第1図の領域a）で、今月は震度1以上を観測した地震は0回でした（先月1回）（3項参照）。

1997年10月以降の活動を見ると、領域a内では2018年頃からまとまった地震活動が見られており、活動は継続しています（第2図）。

N=54



第3図 地震活動経過図

6. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した震度別地震回数表

年	2020年											2021年		合計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
震度1	5	1	3	0	0	0	4	1	3	1	0	0	18	
震度2	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	5	
震度3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4	
震度4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
震度5強	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	8	2	4	0	0	0	6	1	4	1	1	1	28	

震度はどうやって決めるの？

震度は、地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」という機器で観測しています。地震が発生すると、全国の震度計で観測された震度を自動的に収集し、気象庁では地震発生から約1分半後^{*}に各地域の震度を速報でお知らせしています。

^{*}震度3以上の場合



震度計

気象庁が発表する震度は、以前は気象庁の職員の体感や、まわりで発生した被害の様子などから決めていました。平成8年（1996年）に震度計で震度を観測する体制に移行し、より迅速に全国の震度をお知らせできるようになりました。



震度階級表

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	-	-
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	-	-
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	-
3	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。掘付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先

金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※2020年4月18日から10月23日まで、及び2021年1月9日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られることがあります。

震度計のない場所の震度は推計震度分布図をご利用ください

推計震度分布図は、気象庁が発表した震度データから観測点のない地域を含む面的な震度を推計するもので、地震発生後の迅速かつ確かな防災初動対応への活用を目的とした図情報です。震度計のない場所でも揺れの強さを把握することができます。利用方法としては、強い揺れを推計した地域への優先的な住民支援や面的な被害想定、道路や河川管理者による施設等確認作業の優先度の判断などに有効です。

推計震度分布図は、震度5弱以上の揺れを観測した地震が発生した場合に地表付近の地盤の揺れやすさの分布も考慮し、震度4以上の地域の震度を面的に表現したもので約1km四方の格子間隔で震度を推計した図情報です。推計震度分布図は、地震発生から15分から30分程度で発表します。

最新の推計震度分布図は気象庁ホームページ（下記 URL）から参照できます。

気象庁 HP→防災情報→「地震・津波」で推計震度分布図

または <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/suikei/>

例として、令和2年(2020年)3月13日02時18分に発生した石川県能登地方の地震について図1に示します。図1の左図が実際に観測された震度で、これをもとに作成した推計震度分布図が図1の右図になります。

推計震度分布図から震度5弱の面的な広がり、一部に震度5強の地域を把握することができます。

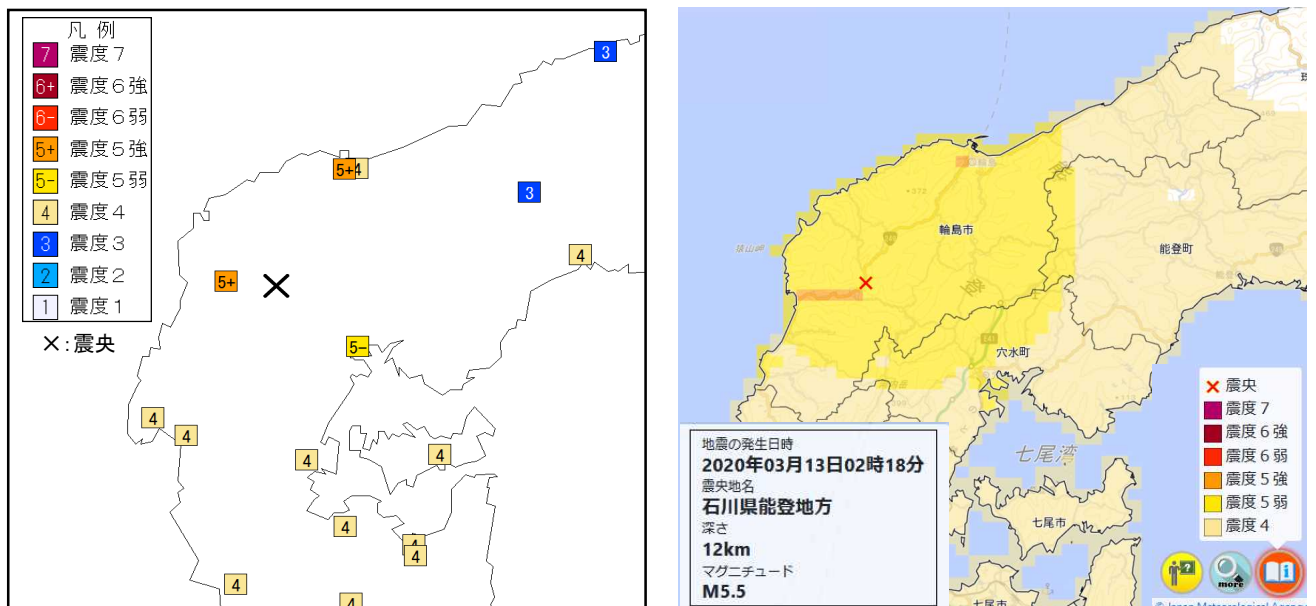


図1 令和2年(2020年)3月13日02時18分に発生した石川県能登地方の地震で観測された震度分布図(左)と作成された震度推計分布図(右)

ご利用にあたっては以下の点についてご留意下さい。

- ・推計された震度の値は、実際に観測される震度に比べて±1階級程度異なることがあります。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。
- ・震度5弱以上を観測していても、強い揺れの範囲に十分な広がりが見られない場合などは推計震度分布図を発表しないことがあります。